

2022年4月23日（土）10：00～11：30、本会会員で、三菱商事株式会社 デジタルイノベーションセンター長の平竹雅人氏をお招きしてオンライン報告会を開催しました。事前登録された会員17名が参加されました。お話の題目は「日本の地方から見える 新しい社会・ビジネスの形」です。

平竹さんは、LPガスにはじまり、風力、バイオマス、燃料電池・水素等の事業投資など環境・エネルギー分野を経験。現在は、会津若松市にご家族で移住し、デジタルやデータなどの道具を使って、一人ひとりに寄り添い、持続的に地域の暮らしを支える仕組み作りに挑戦されています。

地域データ連携基盤「都市OS」という仕組みを活用して、①人口減少による影響や地域の貧困を削減、②地域の生産性を向上、③新たな需要の創造、等々、何よりもお互いに助け合えるように、デジタル・データ技術で促す事を狙って活動されています。地域の人やモノの「移動」の課題解決を梃に、ガス、水道、電力、通信、医療、教育など地域の社会インフラデータを連携したDX事業化モデルなどを検討中とのこと。

これまで台北、香港、上海、ワシントンDC、ベルリン/デュッセルドルフに駐在。2004年から3年間世界銀行へ出向。ESSD CarbonFinance Unit, Senior Operation Officer として、カーボンファイナンスビジネスを担当。その後、日本では首相官邸に出向し、内閣官房国家戦略室 総理補佐として環境・エネルギー/国家安全保障担当を務めるなど官民での経験をされています。

成蹊大学卒、スタンフォード大学 IUP、東京大学 EMP 修了、米国アイゼンハワーフェローに選出。一般社団法人スーパーシティ AiCT コンソーシアム理事。好きなことは、短歌・茶道や歴史、最近は愛犬との散歩 とのこと。

平竹さんからは、添付のPDF資料に基づきご説明がありました。詳細は添付資料をご覧ください。お話では、福島県会津若松市「スマートシティ AiCT」での取り組みを实践され、今後は国内100カ所、そして海外展開へ含めて構想されています。

参加会員の皆様のうち複数名（川口さん、大久保さん、小寺さん、大野さん他）の方々からご質問を頂きました。①既存の市場参加者（地場タクシー業界）との利害調整、②個人情報の取り扱い、③実践の時間軸、④現行の規制改変にかかる必要性とそれにかかる政府の取り組み、⑤電源がなくなるなどの非常時対応、⑥デジタルデバイドなどの問題や包摂性、⑦GAFGA型と分散型との対比などについてご質問を頂きました。

ご報告頂きました平竹さんには心より感謝しております。ありがとうございました。

（記録：安間）